

# 平成 29 年度 菊川南陵高等学校評価（目標）

平成 30 年 2 月 14 日

学校法人南陵学園 菊川南陵高等学校長 菊地 伸幸

学校法人南陵学園 菊川南陵高等学校評価委員長 内山 力夫

## 教育目標

主体的に行動する生徒

## 教育方針

私学としての独自性を発揮し地域に根付き、愛される学校を創造するとともに、地域に役立ち文化や伝統を継承できる人材の育成と、仁・義・礼・智・信を大切にする道徳教育のもとに人格の完成を目指す。

## 本年度の重点目標

- 1 学習指導の充実を図る。
- 2 進路意識を高め、進路目標の達成を果たす。
- 3 スポーツを通じて社会で生き抜く力を養う。
- 4 自立・自律のための教育の実践。
- 5 地域に開かれた学校づくり及び地域と共につくりあげる学校づくりを目指す。

平成 30 年 2 月 14 日（水） 評価と課題・自己評価 記載

評価項目	具体的な方策または評価項目を評価する具体的な指標	成果と課題	自己評価	関係者評価
学習指導の充実を図り、授業改善を実施する。	生徒の学習意欲の向上を図り、興味関心が湧く「分かる授業、分かりやすい授業」への改善に努める。	年間計画をもとに研修を実施してきたが教員の授業改善に対する意識がまだ低い。	<b>D</b>	<b>D</b>
	iPad を利用した授業展開をより展開させていく。	ICT 教育に対しての教員の研修不足により実施できていない。	<b>E</b>	<b>E</b>
	道徳教育、論語教育を徹底し、人間味のある生徒を育てる。	全ての教育に対して道徳の網をかけたが、漏れることがあった。	<b>C</b>	<b>D</b>
特別支援教育を充実させる。	自立・自律のため、生徒の実情に合わせた指導計画を立案・実行していく。	年間指導計画を立て実践してきたが、教職員間の情報共有が不十分であった。	<b>C</b>	<b>D</b>
	多くの外部機関との連携を図る。	外部機関との連携体制は整っているが、現時点では校内での指導で十分行うことができている。	<b>B</b>	<b>C</b>
社会でも通	県大会や東海大会、全国大会へ	個人競技では出場しているが、団体	<b>B</b>	<b>B</b>

用する人材の育成という教育目標を達成するために、生徒指導を実施する。	の出場及び試合や大会での上位成績を果たす。	競技における出場をめざしていきたい。		
	学習と部活動の両立を一層推進し、心身共に健全で自律的な精神と協調性を養う。	学習と部活の両立を図ってきた。一部の生徒は両立出来たが、全体にはまだ浸透できていない。	<b>C</b>	<b>D</b>
	通学生、寮生と共に生活習慣に注意を払い、早寝早起きを原則に、学校生活態度を一層良くしていく。また、欠席者、遅刻者、早退者の減少を図る。	全体を通しては欠席・遅刻者は少なくなってきた。基本的な生活習慣が身につけていない生徒はまだいる。	<b>C</b>	<b>D</b>
	正しい身だしなみの指導を徹底し、校則を遵守する。	全体指導の効果が表れてきている。	<b>B</b>	<b>C</b>
	地域の方々からも意見等を頂戴しながら、生徒指導へも協力を頂き、多くの大人から支えられる生徒の育成を実施する。	全体的にはありがたいご意見をいただいているが、まだまだ地域貢献の為のボランティア活動等を実施していかなくてはならない。	<b>B</b>	<b>B</b>
	生徒だけではなく、教職員も挨拶を徹底して行い、規律ある学校づくりを図る。	挨拶は出来るが自ら進んで挨拶することがまだまだ不十分である。	<b>C</b>	<b>C</b>
	生徒会役員組織をより強化し、生徒が主体的に学校行事等に取り組むよう教職員は指導していく。	まだまだ自主的活動には至っていない。	<b>C</b>	<b>D</b>
第一志望合格に向けたきめ細かな指導を実施する。	進学コースの確立を図る上で、有名大学進学に向けた特化された授業展開を実施する。	講師を招いての授業を計画的に実施はしてきたが、まだ成果は見られない。	<b>D</b>	<b>D</b>
	職場体験やインターンシップ体験を通じ、社会で生き抜く力を育てる。	実施はしたが、先を見通したキャリア教育がまだまだ必要である。	<b>C</b>	<b>D</b>
	生徒が自分の将来の目標を見出せるよう早期より進路指導を実施する。	3年間を見通してのキャリア教育が不十分であった。	<b>D</b>	<b>D</b>
	応援企業や高大連携先との密なる連携を図る。	進学・就職については連携を図ることができた。	<b>B</b>	<b>B</b>
	大学の一般受験での合格者を1名以上輩出する。	センター試験5名受検	<b>D</b>	<b>D</b>
校内外研修への意欲的な参加を推進する。	各教科・分掌の研修会へ教職員が意欲的に参加できるよう業務分担を行い、校外研修を充実させていく。	研究推進委員を立ち上げ授業研究を実施(2回)また生徒指導研修も実施した。	<b>B</b>	<b>C</b>

学校情報の発信及び提供を実施する。	学校ホームページを活用し、本校の学校教育情報を発信していく。また、各自治体への広報活動を行っていく。	定期的に学校 HP にて学校の様子を外部に配信することができた。	<b>B</b>	<b>C</b>
	地域の方々にも行事運営委員に携わって頂き、学校運営に協力を頂く。そこでの情報交流会等も実施していく。	行事において地域の方々に参加をしていただいた。実行委員会の開催も数回実施した。	<b>C</b>	<b>C</b>
地域に根付いた学校教育を図り、家庭と連携した教育活動を実施し開かれた学校づくりを行う。	各行事への招待を実施し、地域の方々との交流の時間を増やす。	学園祭には多くの方が来場して頂いた(約850名)	<b>C</b>	<b>C</b>
	各家庭への連絡及び連携を適宜取り、親密な学校と家庭関係を構築していく。	定期的な学校からの連絡は出来ていたが、個々の家庭において連絡の遅れるケースもあった	<b>C</b>	<b>D</b>
	保護者会活動行事へは、教職員も一団となって参加し、保護者の意見をより吸い上げていく。	保護者会主催の事業には参加することができた。	<b>B</b>	<b>C</b>
	地域貢献活動を実施し、地域の感謝の気持ちを持って清掃活動に努める。	まだまだ不十分などところがあるが、今後も計画・実施していく。	<b>C</b>	<b>C</b>
	本校主催でボランティア活動を企画する。また、様々なボランティア活動に参加する。	ボランティア計画が不十分であった。今後しっかり計画し実施していく。	<b>D</b>	<b>D</b>
教育環境整備を実施し、教育施設の活用を図る。	体育施設の利用を申請が分かりやすいものへと改善を図り、誰でも利用しやすい環境づくりを実施する。	数団体に利用して頂いたが、設備等の改善が必要である。	<b>D</b>	<b>D</b>
スクールバスや教室環境等の安全管理を徹底して行う。	ドライバーの健康状態や運行の安全運転管理を徹底して行う。また、教室等の破損箇所については、速やかに修繕をしていく。	運転手に関してもシフトを組み運行した。安全面を考慮し各教室の整備等実施することができた。	<b>B</b>	<b>B</b>
積極的な渉外活動を実施する。	中学校へ早い段階での広報活動を行い、南陵高校の教育活動の理解を得る。	来年度は計画的に広報活動を早い段階で実施していく。	<b>D</b>	<b>E</b>
	和歌山南陵高等学校の通信制課程との連携を図り、様々な実情を抱えた生徒の受け入れ等を行っていく。	生徒の実態など情報共有をしっかりと行ない、適切に対応してきた。	<b>A</b>	<b>B</b>

達成度【A:十分達成(100%)、B:概ね達成(80%程度)、C:変化の兆し(50%前後)、D:まだ不十分(30%前後)、E:目標、方策の見直し(20%以下)】